

## 政策目標4 みんなで行動する環境の街

### ● 重点課題1 低炭素社会の推進と循環型社会の構築

#### 施策の基本方針

「環境首都・札幌」として、新たな温暖化対策推進計画を策定するとともに、原子力発電に依存しない社会を目指し、省エネルギーの推進や代替エネルギーとしての再生可能エネルギー\*の普及を進めるため、CO<sub>2</sub>見える化\*を推進するなど、市民や事業者が環境行動を実践するまちづくりを推進するほか、市有施設への再生可能エネルギー\*・省エネルギー機器の積極的導入を進めます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みを推進するとともに、生ごみ資源化など重点化した取り組みを行います。

#### 4-1-1 環境行動を実践するまちづくり

「環境首都・札幌」として、低炭素社会\*の推進や原子力発電に依存しない社会を目指し、温暖化対策に関する具体的な実行計画を作成し、問題の重要性や解決に向けた取り組みなどを発信します。

あわせて、市民・事業者が、環境に配慮した行動を促進するため、CO<sub>2</sub>の見える化\*や省エネの取り組みなどについて、支援や情報発信を行い、実践に結び付けるよう進めます。また、CO<sub>2</sub>の見える化\*の技術を活用した環境教育を推進します。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>温暖化対策に関する 実行計画策定・推進事業</b> 環)環境都市推進部 [9百万円]	本市における地球温暖化対策に関する実行計画を国の実行計画に即して策定します。また、札幌市温暖化対策推進ビジョンや本実行計画に基づき温暖化対策を推進します。 ○温暖化対策に関する実行計画の策定 H22： - ⇒ H25：策定
<b>さっぼろエコライフ*推進 事業</b> 環)環境都市推進部 [31百万円]	民生家庭部門のエネルギー消費削減に向け、節電モニターを募集するとともに、省エネモニターに対してCO <sub>2</sub> の見える化*を行うエコ診断ソフト*を活用した省エネアドバイスの実施と省エネ実施事例の普及啓発を行います。 ○エコ診断を行った省エネモニターの世帯数(累計) H22： - ⇒ H26：310世帯 ○節電モニターの15%削減達成率 H22： - ⇒ H26：80%
<b>省エネ活動サポート事業</b> 環)環境都市推進部 [8百万円]	中小規模の事業者への省エネの普及を促すため、省エネルギー診断等のサポートを行います。 ○サポート事業による事業者の省エネ実施件数(累計) H22： - ⇒ H26：30件

\*再生可能エネルギー 太陽光、地熱、風力など一度使用しても再び同じ形態で利用することのできるエネルギーの総称。  
\*CO<sub>2</sub>(の)見える化 CO<sub>2</sub>の削減効果を実感しやすくするため、さまざまな活動に起因するCO<sub>2</sub>排出量を可視化する取り組み。  
\*低炭素社会 地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>などの排出量を最小化した社会。  
\*エコライフ エコロジカルライフ(ecological life)の略。環境に与える負荷を少なくすることに配慮した生活。  
\*エコ診断ソフト 家庭における電力・ガス・灯油等の使用量をもとに、CO<sub>2</sub>削減対策やその効果を分析・評価するソフトウェア。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>札幌省エネアクションプログラム</b> 環)環境都市推進部 [36百万円]	市有施設の省エネを推進するため、設備機器の最適な運転方法などの技術支援を行い、削減効果の高いモデル施設のエネルギー削減を進め、市有施設への省エネを推進します。 ○エネルギー削減支援を行うモデル施設数(累計) H22: - ⇒ H26: 12施設
<b>エコドライブ*活動定着推進事業</b> 環)環境都市推進部 [8百万円]	自動車のCO <sub>2</sub> 排出量は、使い方により大きく変動することから、エコドライブ*の定着を図るため、シミュレーター*を用いた講習や企業内のアドバイザー養成などを行います。 ○エコドライブ*啓発者数(講習会などの参加者) H22: - ⇒ H26: 2,900人
<b>エネルギーに関する環境教育の推進</b> 環)環境都市推進部 [23百万円]	学校において、エネルギー使用量やCO <sub>2</sub> の排出量の情報を取得し、見える化の技術を活用した実践的な環境教材による環境学習を行います。 ○環境学習プログラムの作成 H22: - ⇒ H26: 作成

## 4-1-2 省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進

市民や事業者の省エネルギー・新エネルギー\*導入などに対する支援を拡充するとともに、新たに「札幌版次世代住宅基準」に適合した住宅や次世代自動車導入に対する支援を行います。

また、札幌市が率先して太陽光パネルなど再生可能エネルギー\*を導入し、その成果を市民や事業者に対して積極的に情報提供し、普及促進を図ります。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>札幌・エネルギーecoプロジェクト</b> 環)環境都市推進部 [187百万円]	地球温暖化対策推進を目的に、既存エネルギーから新エネルギー*の転換、省エネルギー機器の導入促進を図るため、導入コストの高い新エネ・省エネ機器に対する市民への補助を拡充するとともに、新たに町内会やNPO*に対する補助を行います。 ○新エネ・省エネ機器導入補助件数(累計) H22: 2,351件 ⇒ H26: 10,000件
<b>「札幌版次世代住宅基準」に適合した住宅の普及促進</b> 都)市街地整備部 [200百万円]	高断熱住宅に関する「札幌版次世代住宅基準」を策定し、基準に適合する住宅の建築主に対して建設資金の一部を補助します。また、東雁来地区にハウスメーカーによるモデル住宅の建設を募集し、次世代住宅の普及促進を図ります。 ○札幌版次世代住宅基準に適合する補助件数(累計) H22: - ⇒ H26: 279件 ○札幌版次世代住宅基準に適合するモデル住宅建設戸数(累計) H22: - ⇒ H26: 16戸
<b>エコリフォーム促進事業</b> 都)市街地整備部 [105百万円]	環境負荷低減や高齢者等の安心な住まいづくりのため、省エネやバリアフリー住宅*のリフォームに対し補助を行います。また、あんしん賃貸住宅*などの情報提供を進めること等により、高齢者等が安心して生活できる住空間の確保・拡大を図ります。 ○一般住宅のエコ・バリアフリー*改修の補助利用件数(累計) H22: 43戸 ⇒ H26: 150戸 ○賃貸住宅のエコ・バリアフリー*改修の補助利用件数(累計) H22: - ⇒ H26: 30戸

\*エコドライブ 地球環境にやさしい自動車の運転。

\*シミュレーター 疑似体験や模擬演習を行う装置。

\*新エネルギー 石油など従来型のエネルギーあるいはエネルギー・システムと異なり、資源的制約や環境への影響が少ないエネルギーの総称。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>次世代自動車導入促進事業</b> 環)環境都市推進部 [56百万円]	自動車による市内CO <sub>2</sub> 排出量は25%を占めていることから、CO <sub>2</sub> 排出量の少ない次世代自動車(ハイブリッド*、電気、プラグインハイブリッド*)への切替と導入を推進するため、購入費用の一部を補助します。 ○次世代自動車の補助台数(累計) H22: - ⇒ H26: 900台
<b>地域エネルギーネットワーク推進事業</b> 環)環境都市推進部 [20百万円]	地域におけるエネルギーの共同利用および分散型エネルギーの検討により、再生可能エネルギー*への転換やエネルギーネットワーク化など、本市のエネルギー施策の目指すべき姿の実現に向けた計画を策定します。 ○基本計画策定 H22: - ⇒ H25: 策定
<b>札幌・サンサンプロジェクト事業</b> 環)環境都市推進部 [708百万円]	地球温暖化対策推進のため、普及啓発効果の高い市有施設に太陽光パネルを設置することにより、市民・事業者への普及促進を図ります。 ○市有施設の太陽光パネル設置箇所数(学校施設を含む) H22: 62カ所 ⇒ H26: 180カ所
<b>学校施設太陽光パネル設置事業</b> 教)生涯学習部 [3,259百万円]	児童生徒や地域住民への環境意識の向上および環境教育を推進するため、小中学校に太陽光パネルを設置します。 ○学校施設への太陽光パネル設置校数 H22: 46校 ⇒ H26: 151校
<b>再生可能エネルギー*推進事業</b> 環)環境都市推進部 [64百万円]	地球温暖化対策推進のため、雪冷熱等の再生可能エネルギー*を市有施設へ率先導入し、CO <sub>2</sub> 削減と市民への普及啓発を図ります。 ○雪冷熱導入施設数 H22: 3施設 ⇒ H24: 4施設
<b>木質バイオ燃料*普及促進事業</b> 環)環境都市推進部 [100百万円]	地球温暖化対策として、市内における木質バイオ燃料*の普及に向けた、市民、事業者の機器導入に対する補助制度を拡充します。また、市有施設に木質バイオ燃料*設備を設置するとともに、熱供給事業など大口需要での活用に向けた検討を進めます。 ○木質バイオ燃料*機器補助件数(累計) H22: 15件 ⇒ H26: 95件 ○市内における木質バイオ燃料*年間使用量 H22: 1,400t ⇒ H26: 10,000t
<b>学校への木質バイオ燃料*導入事業</b> 教)生涯学習部 [ - ]	地球温暖化対策として木質バイオ燃料*を活用するとともに、学校における実践的な環境教育を推進するため、学校への導入方法を調査検討し、効果的な導入を目指します。 ○木質バイオ燃料*を活用した学校での環境教育 H22: - ⇒ H24: 推進
<b>次世代エネルギーパーク推進事業</b> 環)環境都市推進部 [10百万円]	市民がさまざまな新エネルギー*設備を実際に見ることのできる体験型普及啓発施設として、円山動物園に「札幌市次世代エネルギーパーク」を整備し、新エネルギー*の普及を推進します。 ○普及啓発展示スペースの設置箇所数 H22: 1カ所 ⇒ H26: 3カ所
<b>市設街路灯LED化の推進</b> 建)土木部 [1,600百万円]	街路灯による電力消費量を削減し、環境負荷の低減を図るために、主に生活道路の水銀灯を中心に、高い省エネ性能を有するLED街路灯への交換を進めます。 ○生活道路等へのLED街路灯設置基数 H22: 3,359基 ⇒ H26: 15,000基
<b>下水道事業における地球温暖化対策</b> 建)下水道河川部 [7,309百万円]	下水道事業における地球温暖化対策として、「札幌市下水道における地球温暖化対策推進計画」を策定し、下水道施設の更新時期に合わせて省エネルギー設備を導入するほか、太陽光パネルの設置などによりCO <sub>2</sub> 排出量を削減します。 ○設備更新時の省エネルギー設備導入によるCO <sub>2</sub> 削減量(対平成22年度比) H22: - ⇒ H26: 1,259 t-CO <sub>2</sub> ○下水道施設における太陽光パネル設置によるCO <sub>2</sub> 削減量(対平成22年度比) H22: - ⇒ H26: 4 t-CO <sub>2</sub>

\*ハイブリッド ハイブリッド自動車のこと。エンジンとモーターなど、複数の異なる動力源を組み合わせた自動車。  
 \*プラグインハイブリッド プラグインハイブリッド自動車のこと。ハイブリッド自動車の一種で、搭載バッテリーに外部より充電できる機能を持つ自動車。  
 \*木質バイオ燃料 間伐材や製材端材、廃木材などを原料とする燃料。

目 政 策  
標 4  
課 重 点  
題 1  
低 炭 素 社 会 の 推 進 と  
循 環 型 社 会 の 構 築

## 4-1-3 みんなで進めるごみ排出量の抑制とリサイクルの推進

ごみ減量やリサイクルのさらなる推進を図るため、札幌市一般廃棄物\*処理基本計画を改定するとともに、生ごみ資源化に向けた実証実験を行い、新たなリサイクル方法を検討します。

また、事業ごみのリサイクルを推進するため、新たな回収システムの構築や中央卸売市場における資源リサイクル施設の整備など事業ごみ資源化の取り組みを進めます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>一般廃棄物*処理基本計画の改定</b> 環) 環境事業部 [20百万円]	今後のさらなるごみ減量・リサイクルの推進に向け、本市の一般廃棄物*処理基本計画(スリムシティさっぽろ計画)の改定を行います。 ○一般廃棄物*処理基本計画の改定 H22：－⇒H25：改定
<b>生ごみ資源化システム実証実験</b> 環) 環境事業部 [47百万円]	生ごみ資源化のさらなる推進に向け、自家処理以外の資源化手法を検証するため、効率的な収集が見込まれる大規模集合住宅に居住する世帯などを対象とした生ごみの分別収集・資源化の実証実験を行います。 ○家庭系生ごみの資源化実証実験の対象世帯数 H22：－⇒H26：3,000世帯
<b>家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業</b> 環) 環境事業部 [63百万円]	市民による生ごみ減量・リサイクルを進めるため、電動生ごみ処理機の購入助成を拡充するほか、相談窓口やセミナーなどの実施により、生ごみ堆肥化を推進します。 ○生ごみ器材の購入助成等を受けた人の生ごみ堆肥化の継続率 H21：80%⇒H26：85%
<b>事業ごみエリア内資源物回収システム構築事業</b> 環) 環境事業部 [14百万円]	テナントビルや商店街において、その地区内の地域団体等と連携・協働して、リサイクルに取り組むため、効率的な回収を行うモデル事業を行います。また、同様の取り組みを実施するテナントビル、商店街に対して回収ボックスなどの購入費用を補助します。 ○モデル事業の実施区数 H22：1区⇒H26：10区 ○分別・リサイクルに取り組む団体に対する補助件数(累計) H22：－⇒H26：30件
<b>焼却灰リサイクル事業の推進</b> 環) 環境事業部 [116百万円]	最終処分場の延命化および循環型社会*の構築を図るため、焼却灰のセメントリサイクルを推進します。 ○焼却灰セメントリサイクル量 H22：117t⇒H26：1,000t
<b>資源リサイクル施設整備事業</b> 経) 中央卸売市場 [462百万円]	環境負荷の軽減および廃棄物の減量化を図るため、中央卸売市場内で毎日発生する生ごみ等の廃棄物を敷地内において飼料にするなど、効率的な再資源化等を行うリサイクル施設を整備します。 ○中央卸売市場内の廃棄物排出量 H22：21,942m <sup>3</sup> ⇒H26：10,970m <sup>3</sup>

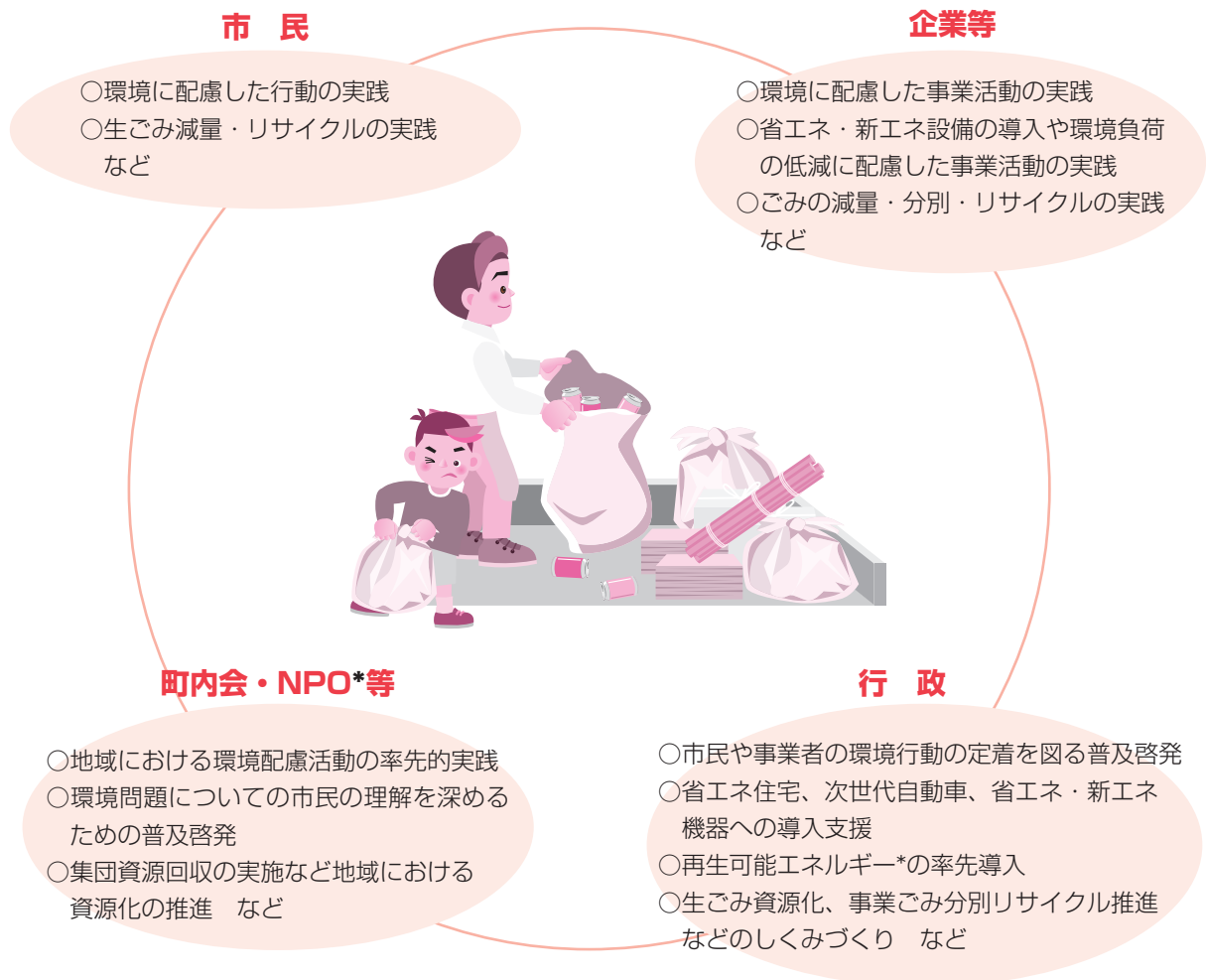
\*一般廃棄物 家庭から排出される「家庭ごみ」と、事業所から事業活動に伴って排出される「事業ごみ」のうち、産業廃棄物を除く「事業ごみ」の総称。

\*循環型社会 廃棄物の発生抑制、循環的な利用、適正処分により天然資源の消費を抑制して環境への負荷ができる限り低減される社会。

## さっぽろ“えがお”指標

	現 状 値	目 標 値
<b>【市民意識・行動指標】</b>		
・環境配慮活動を実践している人の割合	49% (H20)	70% (H26)
・生ごみ減量・リサイクル（水切り減量、堆肥化など）に取り組んでいる世帯の割合	62% (H21)	70% (H26)
<b>【社会成果指標】</b>		
・温室効果ガス*の排出量	1,208万t-CO <sub>2</sub> (H19)	1,000万t-CO <sub>2</sub> (H26)
・札幌市の事業による温室効果ガス*の削減量（累計）	－ (H22)	18万t-CO <sub>2</sub> (H26)
・年間の新築住宅のうち、地域特性に適した省エネルギー住宅の普及割合	－ (H22)	25% (H26)
・札幌市が処理するごみのリサイクル率	27.6% (H22)	30% (H26)

## 各主体の主な役割



\***温室効果ガス** 地表面から宇宙空間に放出される熱の一部を吸収し、大気温の上昇を引き起こすガス。主なものにCO<sub>2</sub>、フロン、メタンなどがある。

## 政策目標4 みんなで行動する環境の街

### ● 重点課題2 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり

#### 施策の基本方針

みどり豊かな美しい風格のある街並みを実現するため、市民や企業とともに、誰もが安心して活用できるみどりの保全と創出を進めます。また、豊かな自然環境や生物多様性\*を守るため、札幌に息づくさまざまな動植物の保全に取り組むとともに、市民が動物に親しむ機会を充実します。

#### 4-2-1 協働で取り組むみどりの保全・育成

市民・企業と連携してみどりづくりを進めるため、都心部のみどりのボリュームアップにつながる新たな助成制度を創設するとともに、市民植樹祭など市民や企業と連携する取り組みを進めます。また、身近な公園について、市民参加により必要な機能を見直ししながら、再整備を進めます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>みどり豊かな街づくり 支援事業</b> 環)みどりの推進部 [78百万円]	花とみどりの豊かな街づくりを進めるため、タウンガーデナー*など市民ボランティアに対する支援を行うとともに、都心部のみどりのボリュームアップを図る新たな助成制度を創設します。 ○新たな助成制度の創設 H22: - ⇒ H25: 創設
<b>さっぽろふるさとの 森づくり事業</b> 環)みどりの推進部 [36百万円]	公園予定地における市民植樹祭などの企業やNPO*との連携による森づくりを実施するとともに、市民参加による苗木づくりや樹木の育成活動を行います。 ○さっぽろふるさとの森づくり事業による植樹面積(累計) H22: - ⇒ H26: 30,000m <sup>2</sup>
<b>地域と創る公園再整備事業 【再掲】</b> 環)みどりの推進部 [2,604百万円]	身近な公園(住区基幹公園*)を対象に、地域のニーズや特性などを踏まえ、市民参加により必要な機能を見直ししながら、公園の再整備を進めます。 ○市民参加により機能の見直しを図られた公園数(累計) H22: 314カ所 ⇒ H26: 411カ所
<b>市民参加型さっぽろ元気 ファームモデル事業【再掲】</b> 経)農政部 [5百万円]	市民が気軽に農業体験が可能な機会を創出するとともに、農地の保全を目的として、農家、NPO*、行政、企業等の協働によるモデル体験農園を開設します。また、市民が農業を考えるための市民農業フォーラム(公開討論会)を開催します。 ○さっぽろ元気ファームの開設数 H22: - ⇒ H26: 2カ所
<b>みどりとふれあい豊かな 地域づくり事業</b> 清)市民部 [4百万円]	区のみどりづくりの視点「みどり」をキーワードとして、みどりのカーテン推進による環境に配慮した生活への意識啓発を行うとともに、地域におけるふれあいの場を創出するためガーデニング*を普及促進することにより、みどり豊かなまちづくりを進めます。 ○みどりのカーテンモニター参加者数(累計) H22: - ⇒ H26: 100人

\* **生物多様性** 地球上の多種多様な生き物すべてがそれぞれ支え合い、つながり合いながら生きている状態を表した概念であり、「森林や河川などさまざまな環境があること(生態系の多様性)」「いろいろな生き物がいること(種の多様性)」「それぞれの種の中でも個体差があること(遺伝子の多様性)」の3つの多様性がある。

\* **タウンガーデナー** 花やみどりに関するまちづくり活動に取り組むこととして札幌市に登録したボランティア。ボランティアを中心とした情報共有やネットワークづくりを通して花とみどりのまちづくりを推進する。

\* **住区基幹公園** 身近な生活圏に整備される街区公園、近隣公園、地区公園。

\* **ガーデニング** 草花を植栽したり、柵や石畳などで装飾するなどの庭造りのこと。

## 4-2-2 安らぎを感じる憩いとうるおいの場の創出

みどり豊かな美しい景観づくりを進めるため、都心部や主要幹線において、街路樹のボリュームアップを図ります。

また、地域の公園について、誰もが安全に安心して利用できるよう、バリアフリー\*化を図るとともに、市民参加による身近な公園の再整備を進めます。

事業名・担当部 (計画事業費)	事業内容 達成目標
<b>都心部みどりの空間づくり事業</b> 環)みどりの推進部 [58百万円]	都心部において、街路樹をみどり豊かな姿に育て保つとともに、北国の花で彩ったコンテナガーデン*の拡大を行い、市民や観光客が安らげる癒やしの空間づくりを進めます。 ○都心部の樹冠形成*路線数 H22：－ ⇒ H26：12路線 ○コンテナガーデン*の設置箇所数 H22：2カ所 ⇒ H26：4カ所
<b>主要幹線みどりのボリュームアップ事業</b> 環)みどりの推進部 [140百万円]	地域と地域をつなぐ主要幹線において、重要な構成要素である街路樹を、その特性に合わせた姿に育てることにより、みどり豊かな美しい道路景観づくりを進めます。 ○主要幹線の樹冠形成*路線数 H22：－ ⇒ H26：22路線
<b>安全・安心な公園再整備事業</b> 環)みどりの推進部 [3,590百万円]	誰もが安全に安心して利用できる公園を目指し、園内の段差解消、ベンチなどの休憩施設の整備やトイレの身障者対応により、バリアフリー*化に対応した公園の再整備を行います。 ○公園のトイレの身障者対応率 H22：30% ⇒ H26：34%
<b>地域と創る公園再整備事業</b> 環)みどりの推進部 [2,604百万円]	身近な公園（住区基幹公園*）を対象に、地域のニーズや特性などを踏まえ、市民参加により、必要な機能を見直しながら、公園の再整備を進めます。 ○市民参加により機能の見直しが図られた公園数（累計） H22：314カ所 ⇒ H26：411カ所
<b>丘珠空港周辺のまちづくり事業</b> 環)みどりの推進部 [2,038百万円]	丘珠空港と周辺地域との調和した発展を目指し、「丘珠空港周辺のまちづくり構想」に基づいて丘珠空港緑地の整備を進めます。 ○丘珠空港緑地整備面積 H22：25.2ha ⇒ H26：32.0ha

目標4

重点課題2

多様な豊かな自然を守り、育てるまちづくり

\*コンテナガーデン さまざまな容器に草花を寄せ植えしてつくる栽培法。

\*樹冠形成 街路樹の枝や葉の茂っている部分（樹冠）をみどり豊かな姿に育て保つこと。

## 4-2-3 札幌に息づく動植物の保全と共生

札幌の豊かな自然環境や生物多様性\*を守るため、生物多様性\*さっぽろ戦略の策定やみどり資源の保全など札幌に息づくさまざまな動植物の保全に取り組みます。

また、市民が動物に親しむ機会を充実するため、円山動物園のアジアゾーン、アフリカゾーンを新たに整備するとともに、ゾウの導入検討を行います。

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容 達成目標
<b>生物多様性*推進事業</b>  環)環境都市推進部 〔61百万円〕	生物多様性*保全を推進するため、生物多様性*さっぽろ戦略を策定するとともに、希少種配慮ガイドラインや市民実践ハンドブックの作成、大学との協働による市民活動プログラムの開発・運営などを行います。  ○生物多様性*さっぽろ戦略の策定 H22：－⇒H24：策定 ○希少種配慮ガイドラインの作成 H22：－⇒H26：作成
<b>みどり資源の保全推進事業</b>  環)みどりの推進部 〔252百万円〕	市街地を取り巻く重要な樹林地を計画的に取得し、公有化によるみどりの保全を進めます。  ○都市環境林*面積 H22：1,697ha⇒H26：1,730ha
<b>アジアゾーン・アフリカゾーン整備事業</b>  環)円山動物園 〔2,873百万円〕	アジア・アフリカに生息する動物について、生物多様性*や生息する地域の保全の大切さ、生命循環・食物連鎖と共生を伝える展示を行うため、アジアゾーン・アフリカゾーンの整備を行います。  ○アジアゾーンの整備 H22：－⇒H24：整備 ○アフリカゾーンの整備 H22：－⇒H26：整備
<b>遊具広場整備</b>  環)円山動物園 〔83百万円〕	アジアゾーン・アフリカゾーンの整備に合わせて、小さな子どもが楽しめる遊具広場を整備します。  ○遊具広場の整備 H22：－⇒H24：整備
<b>ゾウ導入検討調査</b>  環)円山動物園 〔10百万円〕	ゾウ飼育の新たな方法や施設整備・費用について検討するとともに、ゾウの海外からの導入に関して調査を行います。また、これらの結果を踏まえながら、市民とともにゾウ導入について議論し、導入の可否について判断します。  ○ゾウ導入の可否の決定 H22：－⇒H26：決定
<b>北海道の野生動物復元推進事業</b>  環)円山動物園 〔4百万円〕	北海道に生息する希少猛きん類等の動物の保護と復元、繁殖に係る調査研究を行うとともに、環境教育の拠点として北海道・札幌に生息する野生動物に関する環境教育プログラムの充実を図ります。  ○保護した猛きん類のうち放鳥した件数（累計）H22：－⇒H26：3羽

\*都市環境林 良好な生活環境を形成している樹林地として公有化され、自然とのふれあいの場となっている緑地。



## さっぽろ“えがお”指標

	現 状 値	目 標 値
<b>【市民意識・行動指標】</b>		
・身近なみどりの満足度	68.1% (H22)	75% (H26)
・みどりづくりなどに参加した人の割合	39% (H21)	45% (H26)
<b>【社会成果指標】</b>		
・みどりのまちづくり活動実施団体数	141団体 (H22)	200団体 (H26)
・生物多様性*に資する環境配慮行動（環境に配慮した契約など）に取り組んでいる事業者の割合	40% (H23)	60% (H26)
・円山動物園入園者数	83万人 (H22)	100万人 (H26)

## 各主体の主な役割

